

令和2年度 第1回理事会議事録

公益社団法人日本ホッケー協会

1. 日 時 令和2年5月23日(土) 11:00開始
2. 場 所 オンライン会議ミーティング (ZOOM)
3. 出席者 (理事24名中23名出席、監事2名中1名出席)

(理事) 中曽根 弘文、内藤 貴詞、中村 康夫、寺本 祐治、
安西 浩哉、宮野 正喜、瀧上 正志、真 喜代司、中村 真理、濱田 清二、
千野 雅人、今庄 充世、馬場 治男、間野 義之、伊吹 洋二、渡辺 健一、
矢野 茂樹、石川 伸男、埴岡 隆、宮田 知、平尾 豊、奥田 竜子、
井上 雄介

(監事) 田中 誠

4. 開会宣言
定刻、中曽根会長が開会を宣言した。
5. 開会のご挨拶 (中曽根会長)
6. 定足数の発表
(1) 坂本事務局長が理事24名の内23名出席しているので本理事会は定款第39条の規定に定める定足数を満たしており、適法に成立した旨を告げた。
(2) 定款第38条に基づき中曽根会長が議長に選出された。
(3) 議長が議事録署名人に井上雄介理事と田中誠監事を、議事録作成人に梅本勝利事務局次長を指名した。

7. 審議事項

① 令和2年度 定時総会について

議長が瀧上常務理事に説明を求め、配布されている資料に基づき、令和2年度定時総会の開催時期及び方法について（新型コロナウイルス感染拡大予防の為、6月13日開催予定の定期総会を8月1日に延期/開催場所：岸清一メモリアルルーム）、説明が行われた。議長が承認を求めたところ、賛成多数で承認された。

② 令和元年度 JHA 事業報告について

議長が瀧上常務理事に説明を求め、配布されている資料に基づき、強化本部、東京2020オリンピック準備委員会、普及委員会、技術委員会、総務委員会、広報委員会、マーケティング委員会の項目毎に説明が行なわれた。質疑応答の後、議長が承認を求めたところ、賛成多数で承認された。

③ 令和元年度 JHA 決算認定について

議長が井上理事に説明を求め、配布されている資料に基づき、JHA 令和元年度決算についての説明が行なわれた。質疑応答の後、議長が承認を求めたところ、監事の監査前ではあるが賛成多数で承認された。また、令和2年度第1次補正予算（概算）、令和3年度当初予算（概算）についても説明が実施された。

④ 令和2・3年度理事候補者の選任について

議長が内藤副会長に説明を求め、配布されている資料に基づき、説明が行われた。議長が承認を求めたところ賛成多数で承認された。

⑤ 名誉会長の選任について

議長が内藤副会長に説明を求め、口頭により説明が行われた。内容について、議長が補足説明の後、承認を求めたところ、賛成多数で承認された。

⑥ 令和2年度大会日程について

議長が真常務理事に説明を求め、配布されている資料に基づき、新型コロナウイルス感染拡大予防対策の影響によるJHA主催・共催・後援の予選・本戦大会の開催可否についての現状確定内容の説明が行われた。質疑応答の後、議長が承認を求めたところ賛成多数で承認された。

⑦ 日本代表サムライジャパン・さくらジャパン HC の契約更改について
議長が安西常務理事に説明を求め、配布されている資料に基づき説明が行われた（現行契約 2020 年 10 月末までの期間を 2021 年 9 月まで延長、東京 2020 オリンピックが中止になった場合の特約条項の考え方を含む）。質疑応答の後、議長が承認を求めたところ賛成多数で承認された。

⑧ スポーツ振興センター補助金活用と大井ホッケー場の活用計画案について

議長が瀧上常務理事に説明を求め、配布されている資料に基づき、令和 2 年度日本スポーツ振興センター補助金への申請（4 事業）、夢見るジュニアスポーツ教室&ホッケーカップ、オリンピック 1 年延長に伴う大井ホッケー場の活用計画（2022 年度の使用計画含む）に関する説明が行われた。安西常務理事、間野理事より活用計画策定と同時並行して大井ホッケー場の N T C 化推進が急務であり、推進を急いで欲しい点について言及があった。質疑応答の後、議長が承認を求めたところ賛成多数で承認された。

⑨ 日本スポーツマスターズ実施競技に向けた取組みについて

議長が瀧上常務理事に説明を求め、配布されている資料に基づき、日本スポーツマスターズ実施競技の 2022 年度 2 種目追加にあたり、ホッケー競技の採用に向けた取組みについて説明が行われた。質疑応答の後、議長が承認を求めたところ賛成多数で承認された。

⑩ 元さくらジャパン監督の柳承辰（ユースンジ）氏との和解について
議長が中村専務理事に説明を求め、口頭により説明を行った後、寺本常務理事から配布資料に基づき、詳細について説明が行われた。伊吹常務理事から和解に至る経緯について記録を残すことの必要性が意見された。質疑応答の後、議長が承認を求めたところ賛成多数で承認された。

⑪ 令和 2 年度会議日程について

議長が坂本事務局長に説明を求め、口頭により説明を行った。次回第 2 回理事会は 8 月 1 日の定時総会（予定）直後に行うことについて、議長が承認を求めたところ賛成多数で承認された。

8. 報告事項

① イヤーブック 2020 No. 158 の発行について

宮野理事が口頭により、例年6月の定時総会に合わせて発行しているイヤーズブックについて、今年度は8月の総会（予定）に合わせた発行予定に変更すること及び、新たに日本ホッケー協会ホームページについて販売サイトを立ち上げるということについて報告を行い、賛同を得た。

② Japan Hockey Road to 2030 について

渡辺理事が配布資料に基づき、その実施体制、次世代の人材・リーダー、理念・ビジョン・スローガン、基本方針、Hockey Familyの「2030年あるべき姿」、9つの重点領域、ロードマップについての報告が行われ、坂本事務局長から補足が行われた。内藤副会長から理事会での賛同及び実現へ向けての協力について呼びかけが行われた。

③ 次世代人材・リーダー会議の開催について

渡辺理事が口頭により、次世代人材・リーダー会議の開催内容及び開催日程について、次回定時総会で説明の上、具体的に進めて行く方針であることを報告した。

④ 東京モノレールとのコラボレーションについて

坂本事務局長が配布されている資料に基づき、大井ホッケー場前駅の駅舎外部駅名標横ホッケー・シンボルロゴ設置、上下ホーム駅名標への副駅名標設置及びラッピング車両の検討状況について、報告を行った。